

◎【学部】令和7年度公認心理師対応科目開講状況一覧（平成30年度以降入学者用）

区分	NO	公認心理師科目名(科目群)	開講科目・講義題目名	単位数	開講学部	担当教員	対象学年	備考	
A 心理 学 基 礎 科 目	1	公認心理師の職責	社会の認識「公認心理師の職責」	2	全(教)	渡邊・井出	1～		
	2	心理学概論	教育学概説「発達と学習1」	1	教	川田・大谷	2～		
	3	臨床心理学概論	教育心理学講義「臨床心理学」	2	教	渡邊	2～		
	4	心理学研究法	教育心理学実験実習「教育心理学実験2」	1	教	川田ほか	2～		
	5	心理学統計法	教育心理学実験実習「教育心理学調査実習」	1	教	大谷	2～		
	6	心理学実験	教育心理学実験実習「教育心理学実験1」	1	教	河西ほか	2～		
B 心理 学 発 展 科 目	（基礎心理学）	7	知覚・認知心理学	教育心理学講義「認知心理生理学」	2	教	河西	2～	
		8	学習・言語心理学	教育心理学講義「言語発達論」	2	教	伊藤	3～	
		9	感情・人格心理学	教育心理学講義「認知・動機づけ論」	2	教	大谷	2～	
		10	神経・生理心理学	教育心理学講義「知的障害心理学」	2	教	関	2～	
				科学技術の世界「脳波で探る心理過程」	2	全(教)	河西	1～	
		11	社会・集団・家族心理学	教育学概説「教育と社会1」	1	教	上山	2～	
				教育学概説「教育と社会2」	1	教	辻	2～	
		12	発達心理学	教育心理学講義「乳幼児発達論」	2	教	川田	2～	
				教育心理学講義「発達心理学」	2	教	加藤	2～	
		13	障害者・障害児心理学	教育心理学講義「発達障害教育概論」	2	教	岡田	2～	
				教育心理学講義「視覚障害教育概論」	1	教	(非)出井	2～	
				教育心理学講義「聴覚障害教育概論」	1	教	(非)佐藤	2～	
	（実践心理学）	14	心理的アセスメント	教育心理学講義「心理検査論」	2	教	(非)橋本	2～	
		15	心理学的支援法	教育学概説「発達と学習2」	1	教	岡田・井出	2～	
				教育心理学講義「カウンセリング論」	2	教	松田	3～	
		16	健康・医療心理学	教育学概説「健康体育と衛生1」	1	教	阿部ほか	2～	
				教育心理学講義「肢体不自由教育概論」	1	教	(非)今野	3～	
				教育心理学講義「病虚弱教育概論」	1	教	関ほか	3～	
		17	福祉心理学	教育心理学講義「福祉臨床心理学」	2	教	井出	2～	
				教育社会科学講義「教育福祉論」	2	教	佐々木	2～	
		18	教育・学校心理学	教育心理学講義「特別支援教育概論」	2	教	安達	2～	
		19	司法・犯罪心理学	教育心理学講義「司法・犯罪心理学」	1	教	(非)飯田	2～	
		20	産業・組織心理学	教育社会科学講義「産業教育論」	2	教	上原	3～	
教育社会科学講義「職業能力形成論」	2			教	駒川	3～			
（関連科目）	21	人体の構造と機能及び疾病	教育学概説「健康体育と衛生2」	1	教	阿部ほか	2～		
	22	精神疾患とその治療	教育心理学講義「精神疾患とその治療」	1	教	(非)小野	2～		
	23	関係行政論	教育学概説「教育の自由・権利と法」	1	教	光本	2～		
実習・ 演習※1	24	心理演習	教育心理学実験実習「心理演習」	1	教	(非)川俣	4		
	25	心理実習（80時間以上）	教育心理学実験実習「心理実習」	1	教	専任教員	4	公認心理師プログラム運営委員会が実施	

※1 心理演習・心理実習の対象者の決定方法について

2年次第2学期末までに、前ページの公認心理師科目名の科目から「A心理学基礎科目」6つすべて（ただし、当該科目に対応する本学の科目が2つ以上開講されている場合は、いずれか1つで良い）を含む15科目以上を履修した者のうち、3年次進級時点（2年次末）でのそれらの科目（履修した対象科目は全て含める）のGPA上位15名を、4年次に実施する演習・実習の対象者とする。定員15名に満たない場合には、3年次第2学期末に公認心理師科目名の科目から20科目以上を履修した者に限り再募集を行う。

編入学・転部学生についても基本的には同様の基準とするが、他の授業との関係でやむを得ず基準を満たすことができないことが想定される場合には、応募時までに必ず教育学部公認心理師課程委員会委員に相談すること。

なお、2年次末に応募をした者でも3年次第2学期末に公認心理師科目から20科目以上を履修していない場合や、4年次終了までに公認心理師科目25科目の履修計画を立てられない場合は、4年次に心理実習・心理演習の履修はできない。また、公認心理師受験資格の学部段階の要件を満たすためには、学部在学中に4年次の実習を含めた指定科目を全て修得する必要がある。

※2 対応科目の変更について

各年度の授業内容及び授業担当者に応じて対応科目を設定している。そのため、昨年度の科目群とそれに対応する講義が異なる場合があるので、留意すること。これまでの自身の修得科目と科目群との対応は、修得した年度の対応科目開講状況一覧を参照のこと。対応科目変更に伴い、履修が困難な場合が生じたら、早めに公認心理師課程委員会に相談すること。